

新年のごあいさつ

千代田区議会議長 嶋崎 秀彦



新年明けましておめでとうございます。
 希望に満ちた平成27年の新春を迎え、謹んで
 お慶びを申し上げます。
 区民をはじめ区政関係者の皆様には、日頃から
 区政に対し深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼
 を申し上げます。

去年は、広島市の土砂災害や御嶽山の噴火災害等各地で甚大
 な被害が発生し、改めて自然災害の脅威を感じ、災害から区民
 を守る決意を新たにしました。
 区政では、少子高齢社会・核家族化等により、子育て支援施
 策や高齢者の医療・介護・保健施策の充実、コミュニティ施策
 の推進等、課題は山積しております。
 区議会は、執行機関と連携を図り、何よりも区民の皆様方が、
 安全で安心して暮らせるまちづくりの実現に向け、全力で取り
 組んでまいります。また、二代表制の一翼を担う議会として、
 皆様のご意見を区政に的確に反映できるよう、活発な議論を行
 なってまいりますので、相変わらぬご支援・ご協力を賜ります
 ようお願い申し上げます。

本年が明るい一年となり、皆様が元気で情熱を持って活躍さ
 れ、希望の持てる一年になりますことを心からお祈り申し上げ
 ます。



うさみ正記



林 則行



河合良郎



はやお恭一



高澤秀行



安岡けんじ



永田壮一



内田直之



嶋崎秀彦



小林たかや



寺沢文子



岩佐りょう子



大串ひろやす



山田ながひで



小林やすお



松本佳子



桜井ただし



飯島和子



木村正明



中村つねお



高山はじめ



戸張孝次郎



鳥海隆弘



石渡伸幸

千代田区議会議員

トップニュース

Top News

私立保育所・学童クラブ整備の補正予算、「子どもが健やかに育つための環境の確保に関する条例」等を可決！

■平成26年度千代田区一般会計補正予算第2号

補正前の額472億244万6,000円に、2億7,367万3,000円の予算額が追加されました。

■子どもが健やかに育つための環境の確保に関する条例

子どもが等しく健やかに育成される環境を確保するため、区及び事業者の責務等並びに区の事業者への支援について条例を制定しました。平成27年4月1日から施行します。



主な内容	提案された議案等	
●代表質問 2 ～ 3 面	◆区長提出議案	◆委員会提出議案
●一般質問 4 ～ 5 面	・ 条例 13 件	・ 条例修正 4 件
●定例区議会活動報告等 6 ～ 9 面	・ 予算、契約等 4 件	・ 意見書 1 件
●議案の審議結果等 10 面		◆議員提出議案
		・ 意見書 1 件



●ホームページアドレス

<http://kugikai.city.chiyoda.tokyo.jp>

●メールアドレス

kugikai@city.chiyoda.lg.jp



<QRコード>

平成27年第1回定例区議会は、2月13日(予定)から開会します。

＊この区議会だよりは、区議会ホームページでもご覧になれます。区議会ホームページでは、「区議会日程」や「キッズページ」等を掲載しています。また、区議会の最新情報をお届けする「メールマガジン」も発行していますので、どうぞご利用ください。

平成26年第4回定例区議会

代表質問 (要旨)

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。

自由民主党議員団

小林 やすお

第3次基本計画と財源措置

- 問** ①素案策定後の意見聴取等、改定作業の進捗状況と今後のスケジュールは②施設整備計画の具体化に向けた基本的方向性を問う③事業展開を図るにあたり必要な財源をどう確保するのか、基金再編の考え方、中長期の財政計画、今後の財政運営の見通しについて問う。
- 答** ①意見公募や連合町会長会議等で説明等を行い現在修正作業中。今定例会中に修正案を示し、新年度の予算編成に反映②介護等、今後の需要量の推計を踏まえ、整備する機能と規模について一定程度示し、議会・地域と情報を共有しながら整備計画を進めていく③財政調整基金等を再編・整理し財源を担保する。再編後の基金は27年度当初より活用できるよう準備していく。

外神田一丁目まちづくり

- 問** 万世橋出張所周辺地域一体を検討の範囲とし、都有地取得の意向を示し、早急に万世橋出張所の建て替え計画を進めるべきと考えるがどうか。
- 答** 万世橋から昌平橋までの地域全体の構想を基本とし、2020年の完成を目標に、先行して具体的な検討を行う。都有地の取得については財政措置等を含め、できる限り早く対応していく。
- その他、「高齢者総合サポートセンター」「外濠公園総合グラウンドの整備」について質問がありました。



万世橋出張所と都有地

新しい千代田

河合 良郎

生活困窮者対策について

- 問** ①現状ではどのような支援を行っているのか②平成27年4月に施行される「生活困窮者自立支援法」を踏まえ、どのように支援していくのか。
- 答** ①相談内容別に複数の窓口で対応、根本的な生活改善には至っていない②総合的な窓口を設置し、就労や住まい等、生活状況改善への支援を継続的に行いつつ、差し迫った個別の問題も所管部署と調整し、これまで以上に適切な解決を図る。

広報広聴のあり方について

- 問** ①他自治体と比較した、本区のサービス内容の一覧表を作成しては②ホームページについて、閲覧率の解析を行っているのか。また、閲覧率の高いサービスは、ホームページの表示方法を工夫する他、手に取って見られる場所にチラシを置く等の工夫が必要では③広告宣伝に力をつけるべきでは。
- 答** ①自治体サービスを居住の条件とする傾向もあり、比較の視点も考慮した広報を実施していく②定期的に解析し、庁内でも共有している。区民のニーズに対応した情報発信に努める③費用対効果を念頭に置き、「伝わる広報」の実現に取り組む。
- その他、「生活環境条例とおもてなし」について質問がありました。



日本共産党区議団

木村 正明

繰入額を増やし国保料の軽減を

- 問** ①国庫支出金の増額を国に求めるべき②保険料の負担軽減のため、一般会計から国保会計への繰入金を増額すべき③特別区の中で本区だけが、国民健康保険法に基づく負担軽減や減免制度の利用実績がないのはなぜか。
- 答** ①消費税率引き上げに伴う財政支援等を国に提言済②国保法の枠組みを超えた独自の軽減制度の拡充は考えていない③窓口相談における結果であり、今後とも丁寧な対応を行っていく。

介護保険制度の見直しについて

- 問** ①チェックリストは介護認定申請の障害では②第6期介護保険事業計画での保険料基準額は。また、低所得の高齢者への負担軽減の検討は。
- 答** ①チェックリストは迅速なサービス提供のため必要。訪問介護等が必要な要支援者は、従来どおり、介護認定の申請による②現段階では未定。保険料の上昇の抑制策を講じる。

生活扶助・住宅扶助の引上げを

- 問** ①生活扶助の冬季加算、住宅扶助引き下げを中止すべき②「最低居住面積水準」の住宅確保を住宅扶助基準のよりどころとすることを求める。
- 答** ①状況を踏まえ国が適切に判断②水準の確保は当然であり、住宅扶助基準のよりどころにすることが妥当と考える。



平成26年第4回定例区議会

代表質問 (要旨)

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。

公明党議員団

大串 ひろやす

条例で謳われた文化権は

問 ①文化芸術基本条例制定から10年。掲げられた、すべての区民の文化権を保障するという理念はどこまで実現できたのか②子どもの文化権を保障するために提案。さまざまな団体が行っている子ども向け事業を一つの事業として、区内各児童館で統一して実施してはどうか。区全体が巨大な児童館だ。

答 ①多くの方々に文化芸術に親しむ機会を提供。特に次世代を担う子どもたちへは提供の場を充実させた②第3次プラン策定の中で検討する。

オープンデータの推進について

問 スマートフォンの普及とアプリケーションソフトの開発が急速に進んでいる①オープンデータの推進を積極化し、情報の共有と区民の参画をより進めるべき。推進計画の策定を提案する。所見は②アプリ「協働レポート」は、災害時のみならず、日常において地域社会への貢献のきっかけとなる。そこで、「千代田区民協働レポート」の実証実験の実施を提案したい。

答 ①「千代田区情報化指針」の見直しの中で検討する。具体的な取り組みとして、公式ホームページの一部の試行を検討中②区の地域特性も考慮に入れ、コミュニティへの参加を促し、地域の課題解決の促進に有効なのか費用面も含め、可能性を研究していく。



ちば市民協働レポート

ちよだの声

小林 たかや

地域特性を踏まえた防災対策

問 ①防災対策の基本的考え方②防災対策を進めるうえでの課題と、独自の取り組み③マンション防災対策④まちみらい千代田との役割分担⑤約半数の町会が防災用資器材等購入費助成を未申請⑥防災用資器材等の倉庫設置状況。

答 ①千代田区の全関係者が共に助ける「協働」の理念に基づく②風水害対策が課題。地域防災計画の改定や地下街の浸水対策に取り組む。独自の取り組みは、震災の被害想定を休日・夜間等複数のケースを想定し計画を作成する等③まちみらい千代田が主体となり、「マンション防災計画」策定等を推進④事業実施主体はまちみらい千代田、基本理念や施策は区が確立⑤制度周知を工夫する⑥未設置町会や拡張等が必要な消防団倉庫に対し、公共的場所等に設置が可能か検討する。

ヒューマンエラーについて

問 ①職員数が条例に縛られているため人員不足の部署があるのでは②ヒューマンエラー防止策は③プロジェクトチーム(PT)による課題解決が必要。

答 ①適正な人員配置であり、必要な部署に採用増を行っている。エラー原因に職員数は関係ないと認識している②ダブルチェックを強化、新たに防止対策研修を実施③人材育成とPTの活用を含めた組織づくりに努める。

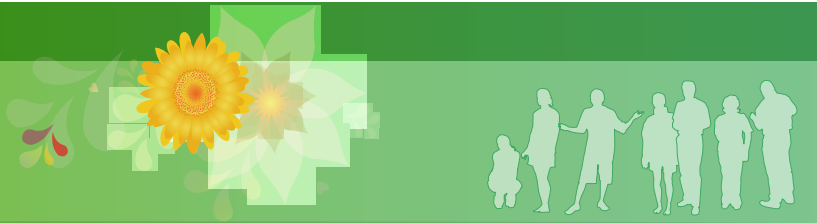


町会防災倉庫に格納された備品



平成26年第4回定例区議会

一般質問 (要旨)



※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。

内田 直之 (自民)

小・中学校校庭の人工芝化

問 富士見小学校の事例に学び、子どもたちの育成を最優先に考え、校庭の人工芝化を図るべき。

答 人工芝の技術革新も視野に入れ、校庭を使用する子どもたちにとって何が最善かを最優先に考え研究する。

電線類地中化と高速高架橋撤去

問 都市計画マスタープランに、首都高速高架橋の撤去と電線類の地中化100%を明確に示し「人が主人公のエコ・コンパクトシティを創る」という強い意思を発信し続けることを提案する。

答 電線類の地中化は、積極的に推進すべきと考え、一つの指標としていく。また、首都高速高架橋撤去は、広域的な観点から方向性が示されるものであり、都市計画への明記は困難である。

松本 佳子 (自民)

子ども・子育て支援事業計画

問 ①現行の乳幼児教育・保育施策が、どのように本計画へ引き継がれるのか②質の高い教育・保育のための保育士の人材確保と育成は③今後の乳幼児人口と、乳幼児施設の需要予測と、その対策は。

答 ①国が実施する新支援制度では、適用外となる施設が生じるため、新たに条例を制定し、区内全保育施設を本計画の適用施設とする②区立施設では保育士増員、幼保交流研修、私立園では区独自の補助として保育士の定着加算等を実施。人材育成については、研修参加経費の補助や区主催の区内保育施設連絡会等を通じ、質の高い教育・保育を進める③現在と比べ968人増の3,740人と推計され、昨年実施した子育て世代へのニーズ調査も踏まえ、子ども・子育て支援事業計画の策定作業を進め、待機児童ゼロ対策を進める。

永田 壮一 (自民)

学級編成と教員の質について

問 ①1学級35人を上限とする少人数学級についての区の見解は②小学校全学年35人学級にした場合の対応は③OECDの日本教育に対する提言と公教育の質の向上について④新卒採用教員の育成方法は⑤道徳教育の充実と偏重教育防止策は。

答 ①小学校低学年では35人が適正、中学年以降は一定程度の学級規模が必要と考える②不足する教員は非常勤講師を配置、教室不足が発生した場合でも必ず受け入れできるよう改修等に対応する③権限のある東京都と連携して教員の育成・指導・研修を充実させる④講座や研修を実施、各校に育成担当教員を定め適切な助言・指導で能力向上を図っている⑤心の教育コーディネーターの各校への派遣や、道徳教育研究を通し指導力向上を図る。

寺沢 文子 (声)

環境対策について

問 ①地球温暖化対策条例に定めたCO₂削減量の現状と今後の取り組み②ちよだエコシステムの課題と普及対策③PM2.5等の発生原因とされるVOC対策。

答 ①地球温暖化対策地域推進計画の中で、ロードマップを示すことを検討中②問題点、課題の整理と改善策を検討中③VOC関連啓発チラシの窓口配布やホームページを活用した周知を実施。

公共施設の現況と基金の見直し

問 ①公共施設整備計画を策定し、減価償却を費用と捉え、固定資産台帳を整備し、現況を施設別に明らかにすべき②基金の見直しが必要ではないか。

答 ①公有財産の現在価値を明確にするため、固定資産台帳整備を策定中②安定財源確保のため基金を再編整理する。

中村 つねお (ネット)

自治体連携と人材育成について

問 千代田区は全国市町村との連携を重視している。高校生の理科離れという深刻な状況がある中で、ここへの協力も、一つのポイントではないか①地方出身の理学系学生への宿舍提供や、区内事業所との情報交流の機会の提供②千代田区で働く人が故郷にUターンする場合に役立つ技能の習得支援等が考えられないか。

答 ①地方との連携の手段として地方出身の学生への支援を含む人材育成、情報発信、地方の特徴的な食材を通じた交流等が考えられるが、これらの手段を活用しながら、具体的な取り組みを推進していきたい②NPO法人等の活動を支援することで、間接的に円滑なUターンや帰農を支援できると考える。どのような支援がより効果的なのか関係団体と検討していく。

岩佐 りょう子 (民主)

景観に配慮した公共サイン計画

問 案内板等のサインは、まちのイメージを左右する重要な構成要素①景観とのバランスは②カラーユニバーサルデザインの義務化や民間への指針等の策定を③区民参加によるあり方検討を。

答 ①重要な視点と認識②調査研究していく③手法についてもあわせて検討。

条例の見直し点検制度について

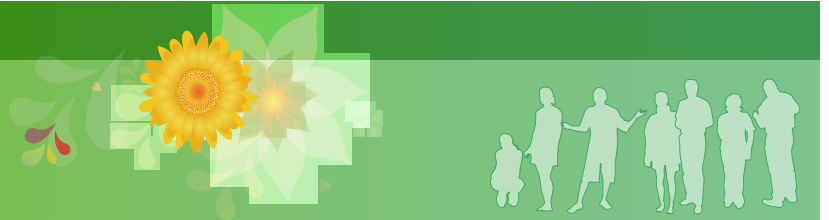
問 適切な条例とするため定期的に見直す仕組みをつくってはどうか。

答 社会情勢や区民ニーズの変化に対応し、適時適切に見直す。



平成26年第4回定例区議会

一般質問 (要旨)



※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。

飯島 和子 (共産)

学校図書館の充実について

問 学校の「心臓部」といわれる学校図書館の①5年間据え置き of 図書類購入予算の増額を②来年度の法改正に伴う司書配置と、研修に対する区 of 取り組みは③司書派遣日数の増加を。

答 ①活発な利用に資するよう蔵書整備を図る②司書向け研修を日常的に受講している専門性の高い司書を派遣している③学校 of 要望に応じて検討。

いつも利用できる「本格的な公園」

問 ①本格的な公園づくりへの見解は②区基本計画に「本格的な公園」に向けて of 前向きな姿勢を示すべき。

答 ①②当面は、現在の「子どもの遊び場事業」を通じて、外遊び of 楽しさや最小限 of ルールを守ること等を浸透させていく。

はやお 恭一 (千代田)

認知症対策の進捗と方向性

問 ①取り組み of 成果と課題、今後 of 方向性②高齢者総合サポートセンター of 認知症コーディネーター of 機能役割

答 ①認知症高齢者 of 発見等 to 一定 of 成果。関係機関や地域 to の連携強化が課題。今後は施設系サービス to の併用等、在宅生活継続への支援を図る②認知症ネットワーク of 中心として、医療と介護 of サービス提供 of 調整役となる。

虐待問題への包括的な取り組み

問 ①虐待防止連絡委員会及び実務者会議 of 成果と課題②担当者 of 人材育成

答 ①児童・高齢者・DV等、各担当課が横断的に情報共有、防止・解決に向け検討を実施。地域での見守り体制 of 構築が課題②研修等により虐待相談担当者 of 対応能力 of 向上に努めている。

林 則行 (千代田)

歯科口腔施策と健康寿命

問 受診率向上のため①区民歯科健診実施診療所に「千代田区区民歯科健診医プレート」を設置しては②口腔がん健診と区民歯科健診をセットにしては。

答 ①歯科医師会と相談する②技術 of 標準化等 of 課題があり、状況を見守る。

複合施設の今後の課題

問 ①改築、解体時 of 問題点は②改築にあたって目的分類別に再整備し、改定区基本計画で位置付けては③分散している住宅施設をまとめて整備すべき。

答 ①居住者 of 生活環境に支障のない代替住居 of 確保等が必要②課題 of 解決及び機能 of 精査が必要③過去 of 経緯等を踏まえ、他の公共施設への需要や行政サービス of 提供体制等を総合的に勘案し、施設整備 of あり方を検討する。

高澤 秀行 (千代田)

住み続けられる街を目指して

問 流入人口は増え続け、区 of 目標 of 5万人を達成する中、古くからの住民流出が目につく。コミュニティも希薄になり、古くから培われてきた千代田 of 歴史や文化 of 崩壊を危惧するが、区としての認識と今後 of 対応を問う。

答 本区 of ビル等は、老朽化に伴い多くが更新・再生期を迎えている。このため、人口流動 of 活発化と社会 of 情報化、グローバル化が、多様な価値観を容認する社会を形成した。そのため、歴史文化 of 継承や昔からの商売 of 継続が困難となっている。この状況は、コミュニティ of 希薄化にもつながり、区としても深刻な課題として認識している。こうした問題に対する区民からの相談にも対応し、地区計画等 of ハード・ソフトさまざまな方策を研究していく。

うさみ 正記 (行革フ)

生活道路の安全対策

問 ①高齢化が進む中、生活道路 of 安全対策への区 of 考えは②ゾーン30(大通りに囲まれた一定区域を時速30km以下に規制) of 麹町地区への導入予定は③生活道路へのハンプ(段差)等 of 設置について区 of 考えは④歩道 of カラーブロック舗装等環境美化への対応は。

答 ①今年度よりゾーン30事業を推進、複合的な交通安全対策を交通管理者と連携し行う②所轄警察署と協議・調整する③段差は振動等が発生するため慎重に検討する必要がある、今後研究する④道路改修の際に推進していく。



区道の安全対策 (一番町)



平成26年第4回定例区議会

定例区議会活動報告Activity Report

常任委員会

常任委員会では、区長提出議案17件及び議員提出議案1件を審査しました。
議案の審査経過をご紹介します。
なお、審議結果は10ページをご覧ください。

企画総務委員会

議案6件のうち、主な議案の審査経過は以下のとおりです。
「職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」は、特別区人事委員会の勧告等に基づき、給料表及び勤勉手当の支給月数の改定を行うものです。給料は、公民較差0.2%を解消するため、平成26年4月1日にさかのぼり適用し、勤勉手当は、再任用以外の管理職及び一般職で0.25月、再任用職員で0.1月引き上げ、平成26年12月1日から適用します。
更に、地域手当の支給割合を平成27年4月1日から18%を20%に引き上げ、給料を同額程度引き下げます。
また、関連する「職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例」は、給与条例の一部改正で、地域手当を引き上げ、給料月額が引き下がることで、退職手当の支給水準が下がるため、調整額の見直しを図るものです。

〈審査経過〉
質疑の中で、地域手当は国に準拠して導入されているが、国家公務員と地方公務員の置かれている状況が著しく異なることや、本来の支給目的と異なってきているとの意見がありました。執行機関からは、給与のあり方そのものが職員のモチベーション、ひいては区民サービスの質にも影響しかねないという恐れもあり、さまざまな制約もあるが、慎重に検討すべきであると認識していること等が明らかになりました。

「千代田区地区計画の区域内における建築物等の制限に関する条例の一部を改正する条例」は、神田錦町北部地区において、地区計画の変更に伴い、建築基準法に基づく制限について、その内容を変更するものです。

〈審査経過〉
質疑の中で、東京電機大学跡地の区域については、総合設計制度を活用し、防災拠点となる1,500㎡の広場を含めて3,000㎡を超える空地が一体的に整備される場合に、建築物等の高さの最高限度を130mとしたこと等が明らかになりました。
その他、継続審査中の「千代田区議会議員政治倫理条例」は、手順・手続き等審査の進め方や資料要求を確認し、引き続き審査することとしました。

生活福祉委員会

議案3件の審査経過は以下のとおりです。
「千代田区立高齢者総合サポートセンター条例」は、高齢者の地域包括ケアを推進する拠点として、高齢者総合サポートセンターを設置するものです。センターは、相談拠点、活動拠点、人材育成・研修拠点及び多世代交流拠点を有し、併設される病院とともに、区民が住み慣れた地域で尊厳をもって暮らし続けられるよう支援していきます。また、相談拠点以外は指定管理者による管理とします。
規則で定める日から施行します。

〈審査経過〉
質疑の中で、第4条の「機能の評価」について、区が設置する4つの拠点の他、併設する九段坂病院が実施する在宅ケア医療拠点についても評価するために、特に項目として明記したこと等が明らかになりました。
また、委員からは、活動拠点の意義を規定した第9条の条文中「各種の相談に応じ、もって高齢者に健康で明るい生活を営ませる場とする。」の『営ませる場』という表現は、多くの区民から期待され、これから新たに作り上げ、発展していくセンターの条文として、区民の目線に立った表現として適切でないのではないか等の意見がありました。この点について、委員会の総意として執行機関に見直しを申し入れた結果、条文を『営むことができる場』に改めることが確認されました。

「千代田区立内幸町ホールの指定管理者の指定について」は、内幸町ホール指定管理者の指定期間の満了に伴い、新たに平成27年4月から平成32年3月までを指定期間とし、「株式会社コンベンションリンケージ」を指定するものです。

〈審査経過〉
質疑の中で、評価項目の一つである主催事業計画の具体的な内容は、大使館との連携事業や親子で楽しめる事業等を開催していることが明らかになりました。
また、利用料金の低減化の提案について質疑がありました。
その他、「岩本町ほほえみプラザ条例の一部を改正する条例」について審査しました。

平成26年第4回定例区議会

定例区議会活動報告 Activity Report

常任委員会



環境文教委員会

議案9件のうち、主な議案の審査経過は以下のとおりです。

「平成26年度千代田区一般会計補正予算第2号」は、「私立保育所等整備補助」にかかる予算2億7,367万3,000円を追加するもので、富士見地域に新たに私立認可保育所と学童クラブを併設して開設する民間保育事業者に対する整備補助です。また、債務負担行為の補正として、麹町保育園園舎整備にかかわる平成27年度から28年度までの債務負担限度額を6億1,020万円から6億4,020万円に変更するものです。

〈審査経過〉

質疑の中で、この認可保育所は定員138名で午前7時30分から午後9時まで、学童クラブは定員60名で下校時から午後9時まで開所すること、また、学童クラブでは、「拡大型一時預かり保育」を実施すること、開設時期は平成27年4月を予定していること、更に、債務負担行為の補正は、地下解体工事への工法の見直しを行い、工期短縮と騒音・振動の発生を軽減すること、地中熱利用による空調方式を取り入れ、1階部分のCO₂排出量を23%、ガス代を16%削減すること等が明らかになりました。

「千代田区保育の実施に関する条例の一部を改正する条例」「千代田区立こども園条例の一部を改正する条例」「千代田区立幼稚園使用条例の一部を改正する条例」3議案は、いずれも、子ども・子育て支援法の公布に伴い、保育園、こども園及び幼稚園の入園資格等について規定を整備する他、保育料の算定方法を変更するものです。施行は、「保育園」「こども園」は区規則で定める日から、「幼稚園」は教育委員会規則で定める日からです。

〈審査経過〉

質疑の中で、今回は制度改革を行うもので、基本的に保育料の値上げは行わないこと、また、平成27年4月から8月までの間、激変緩和措置を実施することが明らかになりました。委員会としては、各条例の附則最終項において、「2年以内」を目途に全般的な見直しをすることの規定があり、激変緩和措置終了後、直ちに保育料の引き上げ提案を実施すると受け取れることから、議案第50号及び議案第51号の附則第5項、議案第52号の附則第6項を削除する修正議案を、委員全員による委員会提出議案として提出することにしました。



特別委員会



公共施設整備特別委員会

執行機関から、新スポーツセンター整備に関するアンケート結果について報告がありました。今後は、体育協会をはじめ、各種競技団体や区民等からの意見を踏まえ、施設整備構想を策定していくことが明らかになりました。

また、高齢者施設の整備については、平成36年度までの間に特別養護老人ホームを138名程度、老人保健施設を100名程度整備する等の方針が示されました。

駅及び駅周辺環境整備特別委員会

3件の報告があり、飯田橋駅関連では、飯田橋駅ホームの安全対策、西口地区再開発事業の進捗状況、東西線混雑緩和のための東西線輸送改善工事の報告がありました。

次に、御茶ノ水駅関連では、周辺道路整備や駅のバリアフリー化工事の進捗及び日大関係の工事について、また、神田駅関連では、J R 駅舎の耐震補強工事や電線類地中化等の駅周辺道路整備の状況報告がありました。

商工観光施策特別委員会

委員会では、水辺を魅力ある都市空間に再生していくため、議員の提案による「川に関する条例（案）」の制定を目指し検討しています。質疑の中で、前回から課題となっていた、水辺の再生として「濠」も対象とすべきではないかという意見に対し、今回の条例は、「川」を対象とし「濠」は含まないことを確認しました。その他、条例前文の内容や題名案について等の意見がありました。

オリンピック・パラリンピック対策特別委員会

執行機関から、区民等からの意見を集約し、それら意見を反映させた「千代田区オリンピック・パラリンピック推進プロジェクト（案）」の報告がありました。

委員会では、推進プロジェクト案への意見や要望が少ないという結果から、区民等のオリンピック開催に向けた機運がまだ不十分であると確認された他、外国人等来訪者の路上喫煙に関する周知等の課題等について議論されました。

今定例区議会で可決した意見書(要旨)

固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続を求める意見書

我が国の景気は持ち直しの動きを見せるようになり、緩やかに回復しているといわれるものの、区内の中小企業や小規模事業者を取り巻く環境は、雇用不安の拡大、金融事情の悪化及び後継者問題など、依然として厳しい状況にあります。

また、全国的に地価が下落してきた中で、千代田区における固定資産の評価額は非常に高い水準が続き、固定資産税の過重な負担が、区民の定住や事業継続の大きな障害となっております。

よって、千代田区議会は、東京都に対し、納税者が納得できる税額となるよう、国に対し固定資産税の大幅減税措置を強く働きかけるよう求めるとともに、来年度以降も、「小規模非住宅用地に係る固定資産税・都市計画税」2割減免、「小規模住宅用地に係る都市計画税」及び「負担水準が65%を超える商業地等の固定資産税・都市計画税」の軽減措置を継続されますよう強く求めます。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出します。

(提出先) 東京都知事



本会議における討論(要旨)

今定例区議会では、「雇用環境の整備に関する意見書」の議案を採決するにあたり、討論がありました。その要旨をご紹介します。

【反対の意見】

第1の理由は、雇用情勢に対する認識が事実と異なっていること。第2の理由は、労働法制の更なる規制緩和は、十分な議論の上、撤回させるべき対象であること。今求められるのは、非正規労働者の正社員化と均等待遇等、人間らしく働けるルールを確立することであるため反対する。(木村)

多様な社員の導入により、女性や介護中の方が活躍できる環境整備等が見込まれるため、積極的に進めるべきである。また、我が国の労働慣行が諸外国から見て不透明という問題の解消等に資するよう、早急に予見可能性の高い紛争解決システムの構築を図る必要がある。よって反対する。(松本)

【賛成の意見】

生活レベルで感じる経済は明るいとはいえない。日本経済・社会の持続的な成長のためには、経済社会と整合した未来志向の賃金を構築し、内需を拡大しなければならない。全ての人が安心して働き続けられるルールを、国民的な議論を経て、つくっていくことを求め賛成する。(小林た)

正規雇用の労働人口が低下する中、「雇用の質」に着目した雇用環境の整備は、今の日本の喫緊の課題であると認識しなければならない。持続可能な「安心して生活できる社会」を実現するため、雇用環境の整備に関しては、十分な議論を経て政策化していくことを求め賛成する。(寺沢)

平成26年第4回定例区議会 会期日程<会期19日間>

月／日	本会議・委員会関係日程	月／日	本会議・委員会関係日程
11／20	議会運営委員会 本会議（会期の決定・区長招集あいさつ等）	12／3	議会運営委員会 商工観光施策特別委員会 オリンピック・パラリンピック対策特別委員会
21	議会運営委員会	4	企画総務委員会 生活福祉委員会 環境文教委員会 3常任委員会連合審査会
27	議会運営委員会 本会議（代表質問・一般質問）		
28	議会運営委員会 本会議（一般質問・議案の付託等）	5	議会運営委員会
12／1	企画総務委員会	8	議会運営委員会 本会議（議案の議決等） 生活福祉委員会
	生活福祉委員会		
	環境文教委員会		
2	公共施設整備特別委員会 駅及び駅周辺環境整備特別委員会		

本会議のインターネット中継を行っています

千代田区議会では、「開かれた区議会」を目指し、本会議のインターネット中継を行っています。傍聴に来ることができない方も、ご自宅のパソコン等で、本会議のライブ中継及び録画映像をご覧くださいことができます。

詳しくは、「インターネット中継ページ」をご覧ください。
<http://www.kensakusystem.jp/chiyoda-vod/index.html>



委員会で取り扱った陳情（平成26年11月7日～平成26年12月24日）※詳細は、区議会ホームページでご覧になれます。

陳 情 名（受付順に掲載）	送付委員会	審査状況 （平成26年12月24日現在）
千代田区における喫煙所の絶対数不足解消に向けた改善を求める陳情	環境文教委員会	審査終了
神田地区の認可保育園等の早急な整備と延長保育、病後児保育等の充実を求める陳情	環境文教委員会	継続審査
芳林公園喫煙所の廃止または整備を求める	環境文教委員会	継続審査
固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書の提出に関する陳情（2件）	生活福祉委員会	審査終了

■ 全国からの視察

地域特性を踏まえた、独自性・独創性のある本区の施策や、議会改革に積極的に取り組む本区議会の活動を調査するため、全国から多くの議員の方々等が視察に訪れています。

平成26年1月～12月においては、図書館、次世代育成支援事業、議場設備、議会運営等の取り組みについて、74件の視察がありました。

10月～11月の主な活動

月／日	日程	月／日	日程
10 / 20	政務活動費交付額等審査会	11 / 11	生活福祉委員会
21	商工観光施策特別委員会	12	企画総務委員会
23	環境文教委員会 環境文教委員会国内行政調査【区立神田一橋中学校】	13	企画総務委員会国内行政調査【大丸有地区】 〈平成 26 年第 4 回千代田区議会定例会告示日〉 議会運営委員会
24	議会運営委員会（未開催）	18	商工観光施策特別委員会 平成 26 年度区民集会【災害につよいコミュニティづくり～マンションと地域コミュニティ～】
29	区民集会運営協議会	19	議会運営委員会
30	生活福祉委員会		
11 / 10	環境文教委員会		

平成26年の議会活動から

請願受付・取扱件数

受付件数	採択	不採択	継続審査	審議未了	取り下げ	取り扱い 未定等
1	0	0	0	0	0	1

陳情受付・取扱件数

受付件数	委員会 に送付	参考送付	審査にな じまない	取り下げ	取り扱い 未定等
59	43	6	3	1	6

送付陳情の審査内容等

合 計	委員会に送付された陳情の審査内容					
	陳情の趣旨 に添った取り 扱いをすべき	陳情の趣旨 に添いがた い	今後とも 調査して いく	その他	取り扱い 未定等	取り下げ
44	13(2)	3	2	25	1	0

※（ ）内は陳情の趣旨に基づき、意見書を提出した件数です。
※件数には、平成 25 年から審査していた 1 件を含みます。

本会議別議決件数

項目	区長 提出議案	委員会 提出議案	議員 提出議案	報告
定例会				
第 1 回定例区議会 (2 月)	21	1	3	1
第 2 回定例区議会 (6 月)	11	0	1	2
第 3 回定例区議会 (9 月)	6	3	1	4
第 4 回定例区議会 (11 月)	17	5	1	0
合計	55	9	6	7

千代田区議会情報公開制度実施状況

（1）請求種類別請求件数

※情報提供請求とは、会議録や委員会の記録等の閲覧等を請求したものです。

	請求件数	請求内容			
		本会議関係	委員会関係	政務活動費 関係	その他
公文書開示請求	9	0	0	8	1
情 報 提 供 請 求	4	0	0	4	0
計	13	0	0	12	1

（2）個人、法人別公文書開示請求・情報提供請求件数及び住所又は所在地内訳

		住所又は所在地				
		千代田区内	都内 (千代田区内を除く)	都外	国外	合計
公文書開示請求	個人	4	1	0	0	5
	法人等団体	4	0	0	0	4
	計	8	1	0	0	9
情 報 提 供 請 求	個人	2	0	1	0	3
	法人等団体	0	1	0	0	1
	計	2	1	1	0	4

（3）公文書開示請求及び情報提供請求方法別請求者数内訳

	来庁	郵送	ファクシミリ	電子メール	合計
公文書開示請求	7	0	0	2	9
情 報 提 供 請 求	4	0	0	0	4

（4）開示等の処理状況内訳

開示	一部開示	非開示	不存在	未定	合計
0	8	0	1	1	10

議案の審議結果等（平成26年第4回定例区議会）															可…可決/否…否決/○…賛成/×…反対 欠…欠席/退…退席/除…除斥																		
議 員 名 等 議 案 名 等		出席者数	投票数	賛成	反対	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	議決月日	
							うさみ 正記 行革 ク	林 則行 千代 田	河 合良 郎千 代田	はや お恭 一 千代 田	高 澤秀 行千 代田	安 岡けん じ行 革ク	永 田壮 一自 民	内 田直 之自 民	嶋 崎秀 彦自 民	小 林た かや 声	寺 沢文 子声	岩 佐り ょう 子民 主	欠 員	大 串ひろ やす 公	山 田なが ひで 公	小 林やす お自 民	松 本佳 子自 民	桜 井た だし 自 民	飯 島和 子共 産	木 村正 明共 産	中 村つ ねお ネッ ト	高 山は じめ 自 民	戸 張孝 次郎 自 民	鳥 海隆 弘自 民	石 渡伸 幸自 民		
委 員 会 提出議案	議案第40号子どもが健やかに育つための環境の確保に関する条例に対する修正案	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	議 長 は 採 決 に 加 わ り ま せ ん	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/8	
	議案第50号千代田区保育の実施に関する条例の一部を改正する条例に対する修正案	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/8	
	議案第51号千代田区立こども園条例の一部を改正する条例に対する修正案	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/8	
	議案第52号千代田区立幼稚園使用条例の一部を改正する条例に対する修正案	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/8	
	固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続を求める意見書	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/8
議 員 提出議案	雇用環境の整備に関する意見書	24	23	5	18	否	○	×	×	×	×	○	×	×	は	○	○	○		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	12/8	
区 長 提出議案	平成26年度千代田区一般会計補正予算第2号	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	採	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/8
	子どもが健やかに育つための環境の確保に関する条例	24	23	23	0	可※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/8
	千代田区家庭的保育事業等の認可に係る設備及び運営に関する基準を定める条例	24	23	21	2	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	決	○	○		○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	12/8
	千代田区保育施設等運営基準条例	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/8
	千代田区放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	に	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/8
	千代田区立高齢者総合サポートセンター条例	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/8
	岩本町ほほえみプラザ条例の一部を改正する条例	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	加	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/8
	千代田区地区計画の区域内における建築物等の制限に関する条例の一部を改正する条例	24	23	20	3	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	わ	○	×		○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	12/8
	災害対策用備蓄物資（食料）の購入について	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/8
	特別区道の路線の認定について	24	23	21	2	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	り	○	○		○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	12/8
	千代田区立内幸町ホールの指定管理者の指定について	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ま	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/8
	千代田区保育の実施に関する条例の一部を改正する条例	24	23	23	0	可※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/8
	千代田区立こども園条例の一部を改正する条例	24	23	23	0	可※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/8
	千代田区立幼稚園使用条例の一部を改正する条例	24	23	23	0	可※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/8
	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/8
	職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/8
	幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/8
議 員 提出議案	千代田区議会議員政治倫理条例	継 続 審 査																															

※「子どもが健やかに育つための環境の確保に関する条例」、「千代田区保育の実施に関する条例の一部を改正する条例」、「千代田区立こども園条例の一部を改正する条例」、「千代田区立幼稚園使用条例の一部を改正する条例」の4議案については、修正の委員会提出議案があり、その修正案及び修正部分を除く原案を可決しました。

◆ 千代田区議会議員 条例定数25名 現員数24名 欠員1名

■「平成26年度区民集会」を開催しました

区民集会運営協議会は、11月18日(火)午後6時30分から、共立講堂において、「災害につよいコミュニティづくり～マンションと地域コミュニティ～」をテーマとした区民集会を、講演会及びパネルディスカッション形式で開催しました。

講師及びコーディネーターには、青山 侑氏（明治大学教授）を、パネリストには、木ノ島希久子氏（麹町消防団本部副分団長・千代田区保護司会副会長）、大塚 寛氏（神田淡路会会長・須田町中部町会会長）、齋藤 祐治氏（麹町消防署長）、山口 正紀氏（千代田区副区長）をお招きし、約400名の方々にご参加いただきました。

※「区民集会」は、地域の抱える諸課題に対して、区民と区議会が一体となって議論する場として開催しています。

※「区民集会運営協議会」は、区民集会の企画及び運営等に関する協議の場として設置され、連合町会長8名及び区議会議員で構成されています。



青山 侑 氏

